



## 子どもの事故防止について

育児支援チーム

子どもの事故で圧倒的に多いのは転倒・転落によるけが、誤飲による窒息・消化管の異物です。これらの予防についてお話をします。

赤ちゃんの事故は転落が多く、ベビーベッド、大人のベッド、ソファ、抱っこ紐から落ちることが多くみられます。ベビーベッドからの転落はベッドから離れる時は必ず柵をあげる、柵の高さに注意することで防ぐことができます。大人のベッド、ソファからの転落は、赤ちゃんがずり落ちることで起きることが多いため、目を離す時には赤ちゃんを床に寝かせる方が安心です。また、床にクッションマットなどを敷くことも予防になります。抱っこ紐からの転落は座って装着することで防ぐことができます。月齢や子どもの体格にあったものを使用し、保護者がかがんだりする際には手を添えるようにしましょう。

普段、わたしたちが何気なくしていることを子どもが真似をして、転倒をきっかけにおこる事故もあります。例えば、歩きながらの飲食や歯磨きです。転倒して、串や歯ブラシで口の中や顔面をケガして受診されるお子さんがいます。結果として生じる外傷は重症となることも多いため、子どもが同時に二つ（歩く＋食べる、歩く＋歯磨き）のことを行わないよう気をつけましょう。

子どもの口の大きさの目安はトイレットペーパーの芯(幅4cm×長さ5cm)です。これを通る大きさのものは誤飲のリスクのあるものです。日頃から、鍵やキーホルダーなど身の回りのものを子どもが口に入れていることはありませんか？いつもしてるからだからと油断していると誤って飲み込んでしまうことがあります。

また、最近は電子タバコの誤飲も多くみられます。電子タバコには金属チップが入っており、内視鏡などを使って取り出さないといけないこともあります。子どもの手が届かない場所に保管する等、大人の管理が重要です。子どもの事故防止のために、身のまわりのものを見直してみませんか？

大人の注意や環境づくりで  
防ぎましょう。

まずはどんな場所でどんな事故があるかを知り、身のまわりの  
 ことから始めましょう



## プラダー・ウィリ症候群



### ■ プラダー・ウィリ症候群 (Prader-Willi syndrome: PWS) とはどんな病気でしょうか？

PWSは、15番染色体にある一部の遺伝子がうまく働かないことで起こる病気です。多くは、父親から受け継いだ15番染色体の一部が欠けていることが原因です。また、15番染色体を2本とも母親から受け継いでいることが原因となる場合もあります。PWSは約1万5000人に1人の割合でみられ、男女で大きな差はありません。

### ■ PWSの症状にはどんなものがあるのでしょうか？

PWSでは、特徴的な顔つきや小さな手足などがみられることがあり、運動やことばなどの発達がゆっくり進みます。脳の中にある視床下部と呼ばれる領域の働きに障害があるため、体温調節がうまくいかなくなったり、過食や衝動性（気持ちや行動のコントロールが難しくなること）などがみられます。また、低身長や、思春期の発達が十分に進みにくいことがあります。

新生児期・乳児期には筋肉の緊張や哺乳する力が弱く、チューブを使用した経管栄養が必要となる場合もありますが、これらは成長とともに改善します。一方、幼児期以降は過食が問題となり、適切に管理できないと肥満が進行し、糖尿病などさまざまな肥満に関連する合併症につながります。

また、PWSでは筋肉量が少ないことも知られており、肥満や筋肉量の低下といった体の特徴（体組成の異常といいます）が、糖尿病などの代謝に関連する合併症の発症に関係すると考えられています。

### ■ 肥満予防に継続的な食事療法がとても大切です

乳児期の哺乳不良に続いて、2～3歳頃から食欲が強くなり、過食がみられるようになります。適切に管理しないと肥満が進行するため、肥満の予防と治療はPWS診療の重要な柱です。PWSでは満腹感を得にくく、食べ過ぎにつながりやすい一方、筋肉量や活動量が少なく、必要なエネルギー量も少ないため、適切なエネルギー管理が必要です。

栄養管理はできるだけ早い時期から始め、継続することが大切です。年齢や成長に応じた食事療法を行い、家族だけでなく、幼稚園や学校など周囲の理解と協力を得ながら取り組むことで、肥満予防につながります。また、過食が問題となる幼児期以降は、目標エネルギー量の目安を身長(cm)×10kcal/日とし、エネルギーを適切に制限しながら、蛋白質、ビタミン、ミネラルなど成長に必要な栄養素は十分に確保します。

### ■ 成長ホルモン治療は体の筋肉を増やし脂肪を減らします

PWSに対する成長ホルモン(GH)治療は、身長の伸びを改善するだけでなく、筋肉量を増やし、体脂肪を減らすことで体組成を改善する効果が期待されます。2023年からは成人期の患者さんにもGH治療を行うことが可能となり、小児期から成人期まで切れ目なく治療を継続できるようになりました。

### ■ 多職種チームによる支援

PWSでは、青年期以降、大人としての自覚が進む一方で、社会的発達の遅れが目立つことがあります。変化への対応やストレスへの耐性が低く、事実と異なる発言をしたり、感情を爆発させたりするなどの行動上の問題がみられることがあります。こうした特徴がPWSによるものとして周囲に十分理解されないと、本人や家族の負担がさらに大きくなることがあります。そのため、医療だけでなく、心理・福祉・教育などを含めた多職種による継続的な支援が重要です。

## 臨床検査技師の仕事

臨床検査技師は、医師の指示のもと血液検査や尿検査、心電図や超音波検査などを行っている国家資格を持った医療の専門職です。臨床検査には大きく分けて血液や尿を調べる検体検査と患者さんの体を直接検査する生理機能検査があります。また、当センターでは新生児マススクリーニングの検査も大阪府、堺市の委託を受けて実施しています。

### 検体検査

365日24時間体制で検査をしています。検査室に届けられた検体はすぐに検査し、結果を報告し診断・治療につなげます。もしも異常な結果が出た場合は、すぐに治療が始められるよう医師に連絡します。また、体の小さいこどもからたくさんの採血をすることはできないので、少ない量で検査できるよう工夫して検査をしています。

### 生理機能検査

心電図、脳波、心臓超音波検査、胎児超音波スクリーニング検査をしています。生理機能検査は体を動かすと検査ができないことがあります。好きなビデオを見ながら検査したり必要に応じて眠くなるお薬を飲んだり、お母さんに抱っこしてもらったりいろいろと工夫しながら検査をしています。



(臨床検査部門)

9月13日(日) 和泉市主催

## 「和泉市民健康まつり」に出展しました！

子どもの運動機能をチェックする子どもロコモチェックをはじめ、医師・看護師の制服を着て楽しめるなりきり撮影会、薬剤師の調剤体験、赤ちゃん抱っこ体験など、さまざまな企画を実施しました。

多くの皆さまにご来場いただき、会場はにぎやかな雰囲気に包まれ、各コーナーで楽しみながら体験していただきました。

また、スタンプラリーに参加してくれた子どもたちには、モコニャングッズが入ったガチャガチャを楽しんでいただき、大好評でした♪

ガチャガチャ



子どもロコモチェック



医師・看護師なりきり撮影会 / 赤ちゃん抱っこ体験

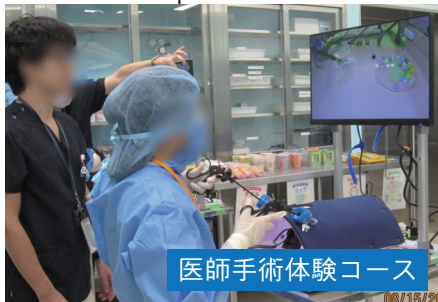


薬剤師調剤体験



## 第17回

## きっずセミナーを開催しました



医師手術体験コース



看護師体験コース



放射線技師体験コース

例年、大きな反響をいただいている「きっずセミナー」を、今年度も8月15日（土）に開催しました。本セミナーは、未来を担う子どもたちに将来について考える機会を提供することを目的として、2010年から継続して実施しているイベントです。

今年度は新しいコースが増え、全9コース（医師・新生児蘇生体験、医師・手術体験、医師・救急救命体験、看護師体験、助産師体験、薬剤師/臨床検査技師体験、放射線技師体験、管理栄養士体験、研究者体験）での開催となりました。

合計で約450名という定員を大きく上回る数のお申し込みをいただき、抽選で選ばれた計166名の小中学生・高校生が、制服に着替えて医療現場の仕事を体験しました。子どもたちの真剣な表情や笑顔が、とても印象的な一日となりました。

（母子保健調査室）



### 大阪母子医療センター 医師・栄養士監修

### 秋の味覚・舞茸の具だくさん味噌汁

今回は、秋が旬の舞茸と、季節の野菜をたっぷり使った具だくさんの味噌汁です。舞茸に含まれるビタミンB群が夏の疲れた体の代謝を助け、日照時間が短くなる季節にビタミンDを補います。

舞茸の香りとうま味、野菜の自然な甘みが味噌の風味を引き立てます。野菜やきのこに含まれる食物繊維もしっかりとれる、秋の健康づくりにおすすめの一杯です。

（栄養管理室）

#### 【1人前栄養量】

エネルギー：53kcal たんぱく質：2.8g カルシウム：39mg

鉄：0.6mg 食物繊維：3.1g 塩分：1.3g

#### 材料（2人分）

- ・大根 3cm（80g）
- ・人参 6cm（60g）
- ・たまねぎ 1/3個（60g）
- ・舞茸 1/2パック（50g）
- ・だし汁 カップ1と1/2（300g）
- ・みそ 大さじ1（18g）
- ・みつば 3本（6g）

- ① 大根は細めの乱切りに、人参は大根より小さい細目の乱切りにする。玉ねぎは5mm厚さのくし形に切る。舞茸は石づきをとってほぐす。
- ② 鍋にだし汁、大根、人参、玉ねぎを入れて煮る。野菜が軟らかくなったら、舞茸を加えて火が通るまで煮る。
- ③ みそを溶き入れ、ひと煮立ちしたら火を止め、器に盛り、みつばを乗せる。

大阪母子医療センターの食育レシピ「こどもの心と体の成長・発達によい食事」妊娠期・乳児期」P.25に掲載されています

地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

電話 0725-56-1220

FAX 0725-56-5682

<https://www.wch.opho.jp/>



#### 基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します

#### 基本方針

- ・周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します
- ・患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います
- ・地域と連携して母子保健を充実させます
- ・母子に関する疾病の原因解明や先進医療の開発研究を進めます